

令和4年度

(自)令和4年4月1日

(至)令和5年3月31日

第11期

定期総会議案書

と き 令和5年5月30日(火曜日)
午後2時30分から

ところ 横浜ベイホテル東急
TEL(045)682-2222

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会

○ 定期総会次第

(午後2時30分～3時30分)

- 1 開会の辞
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議長選出
 - 4 総会成立宣言
 - 5 議 事
 - 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 令和4年度決算報告(案)承認の件
 - 第3号議案 令和4年度会計監査報告の件
 - 6 閉会の辞
-

○ 優良職員表彰式次第

(午後3時40分～4時40分)

- 1 開式の辞
 - 2 会長あいさつ
 - 3 来賓紹介
 - 4 受賞者紹介 優良職員・日精協永年勤続病院職員
 - 5 表彰状授与
 - 6 来賓祝辞
 - 7 受賞者代表答辞
 - 8 閉式の辞
-

○ 記念祝賀パーティー

(午後4時50分～6時30分)

令和4年度事業報告

1 事業実施状況

(1) 研修会（定款第4条第1項3号・6号）

① 精神科看護技術研修

期 日 令和5年1月23日(月)～1月30日(月)

会 場 ホテルプラム（横浜市西区北幸）

受講者 18名

科目及び講師 下表のとおり

期 日	午 前		午 後	
1月23日 (月)	開 講 式	「神奈川県精神保健福祉について」 神奈川県健康医療局 がん・疾病対策課GL 村上浩幸氏	「気分障害の理解と対応」 神奈川県立精神医療センター ストレスケア病棟 医師 伊津野拓司先生	
1月24日 (火)		「統合失調症」 栗田病院 院長 竹林裕直先生	「心理療法について」 川崎こころのケアセンター センター長 公認心理師／臨床心理士 稲富正治氏	
1月26日 (木)		「認知症の理解と対応」 横浜ほうゆう病院 看護部長 原科美津枝氏	「急性期患者の理解と対応」 秦野厚生病院 看護部長 西典子氏	
1月30日 (月)		「アルコール依存症の理解と対応」 久里浜医療センター 精神科医師 湯本洋介氏	「児童思春期患者の理解と対応」 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長 庄紀子先生	閉 講 式

② 栄養課職員研修

期 日 令和4年12月2日(金)

方 法 オンラインセミナー

テーマ 「災害時の給食管理（施設の対応）」

講 師 一般社団法人全国精神科栄養士協会会長

公益社団法人神奈川県栄養士会会長 西宮弘之氏

参加者 35名

(2) 事務長会

① 総会及び第1回研修会

期 日 令和4年6月29日(水) 14時～14時25分

会 場 神奈川歯科大学附属横浜研修センター7階大会議室

出席者 38名

総会議題

- 1) 令和3年度事業報告について
- 2) 令和3年度決算報告(案)について
- 3) 令和4年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 定 光 野草美(横浜丘の上病院)

留任 川 口 英 樹(相州病院)

新任 古 稻 俊 博(紫雲会横浜病院)

新任 加 藤 裕(曾我病院)

第1回研修会(情報交換会) 14時半～16時

参加人数 47名

テ ー マ 「精神科医療に係る令和4年度診療報酬改定のポイント～疑義解釈について～」

講 師 吉富薬品株式会社 橘 敦彦氏

② 第2回研修会

日 時 令和4年10月25日(火) 14時～15時30分

研修形式 オンラインセミナー

参加人数 41名

- 1) テーマ 「インボイス制度の説明」

講 師 財務省主税局税制第二課 課長補佐 佐々木 辰実氏

- 2) テーマ 「改正電子帳簿保存法に関する実務上の留意点」

講 師 東京国税局課税第一部課税総括課調整課係
国税実査官 納 富 桃子氏

③ 第3回研修会

日 時 令和5年3月7日(火) 14時～16時30分

研修形式 会場「ホテルプラム 3階 ジョルジュ・サンク・ウエスト」とオンラインのハイブリッド

- 1) 研修会

参加人数 会場27名、オンライン18名

「医療機関の防犯対策～過去の事例を踏まえて～」

戸部警察署による実地研修

- 2) 情報交換会(座談会)

参加人数 会場25名、オンライン14名

①コロナ関連の医療費請求事務、②電子カルテ導入実績について、③職員採用の課

題、④薬の共同購入について、⑤クロザピンの導入について、⑥入院患者の荷物の預かりについて、⑦その他

(3) 看護部長会

① 総会及び第1回研修会

期 日 令和4年6月24日(金) 14時～14時25分

会 場 神奈川歯科大学附属研修センター 7階大会議室

出席者 24名

総会議題

- 1) 令和3年度事業報告について
- 2) 令和3年度決算報告(案)について
- 3) 令和4年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 遠藤 学(福井記念病院)

留任 永井 昌治(神奈川病院)

新任 田中 君枝(常盤台病院)

新任 尾形 由美子(愛光病院)

第1回研修会(会場とオンラインのハイブリッド方式で開催)14時30分～16時

参加者 会場24名、オンライン6名

テーマ 「精神科医療に関わる令和4年度診療報酬改定のポイント」

講師 吉富薬品株式会社 橘 淳彦氏

② 第2回研修会

期 日 令和4年10月17日(月) 14時～15時30分

方 法 オンラインセミナー

参加者 48名

演 題 「日精看版ラダーの説明と活用について」

講 師 一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理事 本部事務局
本部長 中庭 良枝氏

③ 第3回研修会

期 日 令和5年3月17日(金) 14時～15時30分

方 法 会場(A P横浜 4階 Eルーム)とオンライン

参加者 会場12名、オンライン29名

演 題 「看護管理者が知っておくべき労務管理の基礎とハラスメント」

講 師 福島通子社会保険労務士事務所
特定社会保険労務士 福 島 通 子 氏

(4) 薬剤部長会

① 総会

期 日 令和4年6月16日(木) 14時～16時
会 場 ホテルプラム 2階 パレ・ロワイヤル
出席者 14名

総会議題

- 1) 令和3年度事業報告について
- 2) 令和3年度決算報告(案)について
- 3) 令和4年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 飛 田 俊 介(日野病院)
留任 梅 津 志 野(秦野厚生病院)
新任 小 川 ひろみ(あさひの丘病院)
新任 庭 木 圭 子(愛光病院)

第1回研修会(研修会は会場とオンラインのハイブリッド形式で開催)

出席者 会場14名、オンライン8名
演 題 「令和4年度診療報酬の改定内容について」
講 師 大塚製薬株式会社 丸 岡 昌 司 氏

② 第2回研修会

期 日 令和4年10月28日(金) 14時～16時
方 法 会場(A P横浜 4階 Eルーム)とオンライン
参加者 会場9名、オンライン13名
演 題 「在宅訪問で薬剤師ができること」(在宅の導入の仕方や、実際に薬剤師が患者様のご自宅で何をしているかなど)
講 師 トライアドジャパン株式会社
薬局事業本部 臨床推進部 臨床推進課 課長 森 雅 哉 氏

③ 第3回研修会

期 日 令和5年3月2日(木) 15時～16時半
方 法 会場(A P横浜 6階 Iルーム)とオンライン
参加者 会場13名、オンライン12名
演 題 「うつ病って」
講 師 医療法人 住吉クリニック(相模原市南区)院長 住 吉 秋 次 氏

(5) 代表者・院長会議

期 日 令和4年10月11日(火)
会 場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (横浜市西区北幸)
出席者 講演会 (会場27名、オンライン18名)、懇談会22名
講 演 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と精神医療」
演 者 東海大学医学部総合診療学系精神科学 教授 山本賢司氏

(6) 共催事業 (定款第4条第1項3号・6号)

① 神奈川県精神神経科診療所協会との合同WEB講演会

期 日 令和4年5月12日(木)
共 催 武田薬品工業株式会社、ルンドベック・ジャパン株式会社
出席者 48名
講演Ⅰ 「うつ病治療での薬物療法の適正化について」
演 者 東京女子医科大学 神経精神科 准講師 村岡寛之氏
講演Ⅱ 「精神科における治療継続について」
演 者 北里大学医学部 精神科学 主任教授 稲田健氏

② 県央・県西精神医学研究会ZOOM配信

期 日 令和4年7月29日(金)
共 催 Meiji Seika ファルマ株式会社
参加者 14名
一般講演 「統合失調症医療においてアセナピンの可能性を考える」
演 者 医療法人社団厚仁会 秦野厚生病院 院長 坂井喜郎氏
特別講演 「精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証
～EGUIDEプロジェクト～の紹介」
演 者 北里大学医学部 精神科学 教授 稲田健氏

③ 神奈川県精神神経科診療所協会との合同オンライン学術講演会

期 日 令和4年8月30日(火)
共 催 大塚製薬株式会社
出席者 27名
一般講演 「LAIを使う理由、使わない理由
～神精診LAI受け入れ実態調査から～」
演 者 神奈川診療所 理事長 赤塚英則氏
特別講演 「地域包括ケアシステムから考えるLAIの有用性について」
演 者 医療法人誠心会 あさひの丘病院 院長 福島瑞氏

④ 神奈川県精神科セミナー ハイブリッド開催

期 日 令和4年9月8日(木)
共 催 株式会社メディセオ・ノーベルファーマ株式会社
会 場 TKPガーデンシティ横浜カンファレンスルーム8
出席者 会場6名・WEB55名 計61名
講演Ⅰ 「小児の神経発達症と睡眠の関係」

演 者 横浜市立大学附属病院 児童精神科 講師 藤 田 純 一 氏
特別講演 「発達障害入門」
演 者 昭和大学横浜市北部病院
メンタルケアセンター 准教授 山 田 浩 樹 氏

- ⑤ 神奈川県精神神経科診療所協会との合同WEB講演会
期 日 令和4年9月16日(金)
共 催 塩野義製薬株式会社・武田薬品工業株式会社
出席者 33名
講演Ⅰ 「成人期ADHDの薬物療法」
演 者 ハートクリニック横浜 院長 柏 淳 氏
特別講演 「青年期ADHDの診たてと対応」
演 者 福井大学医学部医学科 精神医学 教授 小 坂 浩 隆 氏
- ⑥ 神奈川県精神神経科診療所協会との合同WEB講演会 ジスバル発売記念
期 日 令和4年10月3日(月)
共 催 田辺三菱製薬・ヤンセンファーマ株式会社・吉富薬品株式会社
出席者 80名
講演① 「遅発性ジスキネジア治療の現状」
演 者 医療法人社団 聖真会きしろメンタルクリニック
院長 木 代 眞 樹 氏
講演② 「遅発性ジスキネジアの診断及びジスバル適正使用の観点から」
演 者 昭和大学横浜市北部病院 准教授 山 田 浩 樹 氏
- ⑦ 神奈川県精神神経科診療所協会との合同精神疾患と低亜鉛オンライン講演会
期 日 令和4年12月8日(木)
共 催 株式会社メディセオ・ノーベルファーマ株式会社
出席者 77名
講演Ⅰ 「栄養精神医学における亜鉛の重要性」
演 者 医療法人山口病院副院長
日本栄養精神医学研究会会長 奥 平 智 之 氏
講演Ⅱ 「精神科臨床における亜鉛不足の実際」
演 者 医療法人社団 更生会 草津病院 副院長 藤 田 康 孝 氏
講演Ⅲ 「精神疾患における亜鉛の有効性とそのメカニズム」
演 者 帝京大学医学部 精神神経科学講座 主任教授 功 刀 浩 氏

(7) 助成（定款第4条第1項第9号）

- ① 一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会 令和4年6月30日
② 一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 令和4年7月28日

(8) 表彰（定款第4条第1項第6号）（敬称略）

- | | |
|---|------------|
| ① 令和3年度優良職員表彰
148名 | 令和4年5月31日 |
| ② 公益社団法人日本精神科病院協会永年勤続病院職員表彰
15名 | 令和4年5月31日 |
| ③ 令和4年度神奈川県県民功労者表彰
大野史郎（平塚病院） | 令和4年6月 |
| ④ 令和4年度神奈川県保健衛生表彰知事表彰
馬場淳臣（横浜日野病院） | 令和4年11月30日 |
| ⑤ 精神保健福祉事業厚生労働大臣表彰
山口哲顕（港北病院） | 令和4年10月14日 |
| ⑥ 公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰
松迫敦子（あさひの丘病院） | 令和4年10月14日 |
| ⑦ 神奈川県救急医療功労者表彰
医療法人社団増田厚生会 清川遠寿病院 | 令和4年9月9日 |
| ⑧ 神奈川県公衆衛生協会会長表彰
木佐森朝野（愛光病院） | 令和4年10月11日 |
| ⑨ 神奈川県精神保健福祉協会会長表彰
橋本貴行（愛光病院） | 令和4年12月1日 |

(9) 各種委員の推薦（定款第4条第1項第11号）（敬称略）

- | | |
|--|-----------|
| ① 神奈川県災害医療対策会議委員
依頼者 神奈川県健康医療局医療危機対策本部室
被推薦者 山口哲顕（港北病院院長）
任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日 | 令和4年4月26日 |
| ② 神奈川県薬物乱用対策推進本部員
依頼者 神奈川県知事
被推薦者 佐伯隆史（神奈川病院理事長）
任期 令和4年6月1日～令和6年5月31日 | 令和4年4月26日 |
| ③ 横浜市措置入院者等実地審査に係る審査担当精神保健指定医
依頼者 横浜市健康福祉局長
被推薦者（順不同） | 令和4年4月26日 |

氏名	現職	氏名	現職
山口哲顕	港北病院院長	加瀬昭彦	横浜舞岡病院院長
長谷川吉生	日向台病院院長	井上俊宏	日向台病院医師
荒井政明	ワシン坂病院医師	畑俊治	横浜丘の上病院名誉会長
佐伯隆史	神奈川病院理事長	大滝紀宏	湘南病院院長
馬場淳臣	横浜日野病院院長	畑俊彰	横浜丘の上病院院長
石井一彦	大和病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
福島端	あさひの丘病院院長	山下さおり	常盤台病院副院長
増田竜大	港北病院副院長		

任期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

- ④ 川崎市精神科病院実地審査に係わる精神保健指定医 令和4年4月26日
 依頼者 川崎市健康福祉局長
 被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
長谷川 吉 生	日向台病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
山 口 哲 顕	港北病院院長	武 田 龍太郎	武田病院院長
澤 山 透	相模ヶ丘病院院長	竹 林 裕 直	栗田病院院長
岡 田 昇	生田病院院長	井 上 俊 宏	日向台病院医師
石 附 知 実	武田病院リハビリテーション診療部長		

任 期 令和4年4月～令和5年3月

- ⑤ 神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員 令和4年4月26日
 依頼者 神奈川県身体障害者連合会長
 被推薦者 大野史郎（平塚病院）
 任 期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

- ⑥ 相模原市精神科病院実地指導・実地審査担当医 令和4年6月14日
 依頼者 相模原市長
 被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
石 井 一 彦	大和病院院長	稲 田 健	北里大学医学部教授
増 田 直 樹	清川遠寿病院理事長	齋 藤 正 範	北里大学医学部准教授
澤 山 透	相模ヶ丘病院院長	澤 山 恵 波	北里大学医学部講師
		新 美 裕 太	北里大学医学部助教

任 期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

- ⑦ 神奈川県教育支援委員会委員 令和4年6月14日
 依頼者 神奈川県医師会長（県教育長）
 被推薦者 大野史郎（平塚病院院長）
 任 期 令和4年6月1日～令和6年5月31日

- ⑧ 神奈川県精神科病院実地審査に係る実地審査担当医 令和4年7月12日
 依頼者 神奈川県健康医療局保健医療部 精神保健医療担当課長
 被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
荒 井 政 明	ワシン坂病院医師	竹 内 俊 介	愛光病院院長
畑 俊 治	横浜丘の上病院名誉会長	澤 山 透	相模ヶ丘病院院長
長谷川 吉 生	日向台病院院長	増 田 直 樹	清川遠寿病院理事長
石 井 一 彦	大和病院院長	岩 元 誠	清川遠寿病院院長
坂 井 喜 郎	秦野厚生病院院長	山 田 聡 敦	国府津病院院長
関 口 剛	丹沢病院院長	矢 野 広	国府津病院副院長
山 口 哲 顕	港北病院院長	井 上 俊 宏	日向台病院医師
大 野 史 郎	平塚病院院長	石 附 知 実	武田病院診療部長
石 井 紀 夫	藤沢病院院長	伊 藤 瑞 穂	曾我病院医師
長谷川 剛	曾我病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長

氏名	現職	氏名	現職
黒岩 隆	相州病院理事長	稲田 健	北里大学医学部教授
内田 修二	愛光病院副院長	齋藤 正範	北里大学医学部准教授
物部長 承	けやきの森病院院長	澤山 恵波	北里大学医学部診療講師
大滝 紀宏	湘南病院院長	村岡 寛之	北里大学医学部講師
馬場 淳臣	日野病院院長	新美 裕太	北里大学医学部助教
加瀬 昭彦	横浜舞岡病院院長	山本 賢司	東海大学医学部教授
福島 端	あさひの丘病院院長	三上 克央	東海大学医学部准教授
高屋 淳彦	福井記念病院院長	大西 雄一	東海大学医学部講師
武田 龍太郎	武田病院院長	木本 啓太郎	東海大学医学部講師
笠原 友幸	秦野病院院長	高橋 有記	東海大学医学部講師

任 期 令和4年10月1日～令和5年3月31日

- ⑨ 横浜市精神医療審査会委員 令和4年7月12日

依 頼 者 横浜市長（こころの健康相談センター）

被推薦者 馬場 淳臣（日野病院院長）

任 期 令和4年10月1日～令和6年9月30日

被推薦者 加瀬 昭彦（横浜舞岡病院院長）

任 期 令和4年12月1日～令和6年11月30日

- ⑩ 横浜市障害者施策推進協議会委員 令和4年7月12日

依 頼 者 横浜市長

被推薦者 山口 哲 顕（港北病院院長）

任 期 令和4年7月1日～令和6年6月30日

- ⑪ 神奈川県保健医療計画推進会議委員 令和4年11月8日

依 頼 者 神奈川県健康医療局保健医療部長

被推薦者 大野 史 郎（平塚病院院長）

任 期 令和4年10月1日～令和6年9月30日

- ⑫ 横浜市精神医療審査会委員 令和4年11月8日

依 頼 者 横浜市長（こころの健康相談センター）

被推薦者 長谷川 吉 生（日向台病院院長）

任 期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

被推薦者 畑 俊 治（横浜丘の上病院名誉会長）

任 期 令和5年5月1日～令和7年4月30日

被推薦者 黒岩 隆（相州病院理事長）

任 期 令和5年5月1日～令和7年4月30日

- ⑬ 横浜市こころの健康相談センター嘱託医師 令和5年1月10日

依 頼 者 横浜市長

被推薦者 佐伯 隆 史（神奈川病院理事長） 第2水曜日、第4火曜日

馬場 淳臣（横浜日野病院院長） 第4火曜日

藤渡 辰 馬（横浜相原病院院長） 第2水曜日

遠藤 桂 子（横浜舞岡病院副院長） 第4火曜日

任 期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

- ⑭ 川崎市総合リハビリテーション推進センター精神保健福祉判定医 令和5年1月10日
 依頼者 川崎市健康福祉局長
 被推薦者 武田 龍太郎（武田病院院長） 第1水、第3金曜日
 福島 端（あさひの丘病院院長） 第1水、第3金曜日
 竹林 裕直（栗田病院院長） 第1水、第3金曜日
 長谷川 吉生（日向台病院院長） 第1水曜日
 大淵 敬太（常盤台病院院長） 第3金曜日
 任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ⑮ 神奈川県救急搬送受入協議会委員 令和5年1月10日
 依頼者 神奈川県医師会長（県消防課）
 被推薦者 山口 哲顕（港北病院院長）
 任期 令和4年6月1日～令和6年5月31日
- ⑯ 平塚市いじめ問題再調査会委員 令和5年1月10日
 依頼者 平塚市教育委員会教育長
 被推薦者 大野 史郎（平塚病院院長）
 任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ⑰ 川崎市精神保健福祉審議会委員 令和5年2月14日
 依頼者 川崎市健康福祉局長
 被推薦者 武田 龍太郎（武田病院院長）
 任期 令和5年4月1日～令和8年3月31日
- ⑱ 生活保護法関係嘱託医 令和5年2月14日
 依頼者 神奈川県医師会長
 被推薦者 坂井 喜郎（秦野厚生病院院長）
 任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ⑲ 厚木市障害者協議会委員 令和5年2月14日
 依頼者 厚木市障害者協議会会長
 被推薦者 代表者会議委員：増田 直樹（清川遠寿病院理事長）
 実務者会議委員：渡辺 淳（清川遠寿病院事務次長）
 任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ⑳ 茅ヶ崎市公務災害補償等認定委員会委員 令和5年2月14日
 依頼者 茅ヶ崎市市長
 被推薦者 田村 紀郎（けやきの森病院 診療課長）
 任期 令和5年3月1日～令和8年2月28日
- ㉑ 神奈川県教職員第二健康審査会委員 令和5年3月14日
 依頼者 神奈川県教育委員会教育長
 被推薦者 馬場 淳臣（日野病院院長）
 任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ㉒ 神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員 令和5年3月14日
 依頼者 神奈川県教育長
 被推薦者 大滝 紀宏（湘南病院院長）

任 期 令和5年4月1日～令和6年3月31日

⑳ 葉山町いじめ問題調査会委員 令和5年3月14日

依 頼 者 葉山町教育長

被推薦者 井 上 亮 子（津久井浜クリニック医師）

任 期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

㉑ 神奈川県精神保健福祉協会理事 令和5年3月14日

依 頼 者 神奈川県精神保健福祉協会長

被推薦者 佐 伯 隆 史（神奈川病院理事長）

澤 山 透（相模ヶ丘病院院長）

(10) 会報発行（定款第4条第1項第10号）

協会報第87号（2022年） B5版

発行部数 300部

(11) 神奈川県補助金事業

令和2年度神奈川県地域医療介護総合確保基金事業による「精神科看護職員研修事業」の実施（定款第4条第1項第3号）

・実施状況

ア) 精神科新人看護職員研修

実施日：令和4年11月21日(月)（参加：13名）

令和4年12月21日(水)（参加：15名）

令和5年1月27日(金)（参加：12名）

内 容：神奈川県精神科病床を有する病院に勤務する新人看護職員を対象に、認知行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、新人看護職員の早期離職の防止とその人材育成を図る。

イ) 精神科中堅看護職員研修

実施日：令和5年2月7日(火)（参加：19名）

令和5年2月20日(月)（参加：13名）

内 容：神奈川県精神科病床を有する病院に勤務する中堅看護職員を対象に、認知行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、時代の変化に対応する精神科看護職員の育成と人材確保の一助となることを目指す。

(12) 4県市委託事業の実施（定款第4条第1項第14号）

① 精神科救急医療夜間輪番病院調整

② 精神科救急医療深夜輪番病院調整

③ 精神科救急医療平日輪番病院調整

④ 精神科救急医療休日輪番及び土日午後輪番病院調整

⑤ 応援指定医派遣病院調整

(13) 各種委員会の構成状況

① 精神科救急医療体制調整委員会（竹内 知夫・大野 史郎・山口 哲顕）

第1・第2ブロック代表	(主) 畑 俊 治 (基幹病院代表) 田 口 寿 子	武 田 龍太郎 松 下 幸 生	佐 伯 隆 史
第3ブロック代表	(主) 石 井 一 彦 (基幹病院代表) 稲 田 健	黒 岩 隆	増 田 直 樹
第4ブロック代表	(主) 長谷川 剛	坂 井 喜 郎	山 田 聡 敦

② 災害時対策委員会

(主) 大野 史郎・

畑 俊治・山口 哲顕・坂井 喜郎・長谷川 吉生・稲田 健

③ 情報管理委員会

畑 俊治・石井 一彦・武田龍太郎

2 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事（会 長）	竹 内 知 夫	令和3年5月25日	愛光病院理事長
理事（副会長）	大 野 史 郎	令和3年5月25日	平塚病院院長
理事（副会長）	山 口 哲 顕	令和3年5月25日	港北病院院長
理 事	畑 俊 治	令和3年5月25日	横浜丘の上病院名誉会長
理 事	石 井 一 彦	令和3年5月25日	大和病院院長
理 事	黒 岩 隆	令和3年5月25日	相州病院理事長
理 事	大 滝 紀 宏	令和3年5月25日	湘南病院院長
理 事	武 田 龍 太 郎	令和3年5月25日	武田病院院長
理 事	長 谷 川 剛	令和3年5月25日	曾我病院院長
理 事	坂 井 喜 郎	令和3年5月25日	秦野厚生病院院長
理 事	増 田 直 樹	令和3年5月25日	清川遠寿病院理事長
理 事	馬 場 淳 臣	令和3年5月25日	横浜日野病院院長
理 事	佐 伯 隆 史	令和3年5月25日	神奈川病院理事長
理 事	山 田 聡 敦	令和3年5月25日	国府津病院院長
理 事	笠 原 友 幸	令和3年5月25日	秦野病院院長
監 事	長 谷 川 吉 生	令和3年5月25日	日向台病院院長
監 事	澤 山 透	令和3年5月25日	相模ヶ丘病院院長

(3) 顧問に関する事項（日付は委嘱日）

顧問	西 井 華 子	令和3年5月25日	鶴見西井病院理事長
顧問	荒 井 政 明	令和3年5月25日	ワシン坂病院医師
顧問	古 谷 和 久	令和4年4月26日	二番町法律事務所弁護士

(4) 事務局職員に関する事項

事務局長	杉 山 宏	平成31年4月1日採用
事務局員	室 賀 広 子	令和3年1月4日採用

(5) 会員等の異動状況（届出順）

異動日	病 院 名	異動事項	変 更 後	変 更 前
R4. 3.31	日吉病院	退会		
R4. 2. 1	北里大学病院	会員	稲 田 健	齋 藤 正 範
R4. 3. 5	相模台病院	会員	丸 香奈恵	石 井 達 範
R4. 4. 1	メンタルホスピタル かまくら山	会員・院長	鈴 木 雄 壺	渡 邊 直 樹
R4. 4. 1	久里浜医療センター	会員・院長	松 下 幸 生	樋 口 進
R4. 4. 1	横浜相原病院	会員	藤 渡 辰 馬	吉 田 勝 明
R4. 4. 1	東海大学医学部 附属病院	会員	山 本 賢 司	松 本 英 夫
R3.10. 1	日野病院	開設者	徳洲会	沖縄徳洲会
R3.10. 1	久里浜医療センター	病床数	277床	291床
R4. 4. 1	久里浜医療センター	事務長	木 村 寛	木 村 寿
R4. 2. 1	かわさき記念病院	開設者	医療法人 三星会	医療法人 花咲会
R4. 2.21	江田記念病院	事務長	吉 田 猛	荒 木 伸 之
R4. 3. 1	東横恵愛病院	事務長	松 崎 有 造	荒 井 竜 也
R4. 3.10	常盤台病院	事務長	嶋 村 寿	山 本 敏
R4. 4. 1	北里大学病院	事務長	永 田 義 裕	武 石 年 弘
R4. 4. 1	川崎市立川崎病院	会員・院長 院長 事務長	野 崎 博 之 野 崎 博 之 岡 正	増 田 純 一 成 松 芳 明 林 徳 厚
R3. 8. 1	丹沢病院	病床数	312床	314床
R4. 4. 1	相模台病院	院長	井 原 厚	大 谷 剛 正
R4. 4. 1	栄聖仁会病院	事務長	澤 田 輝 夫	石 田 仁
R4.11.30	江田記念病院	病床数	52床	112床
R4. 4. 1	聖マリアンナ医科大学 病院	事務長	安 藤 あ ゆ	根 津 保 廣
R4. 6.25	日野病院	開設者	東 上 震 一	安富祖 久 明
R4. 6.30	丹沢病院	開設者	関 口 剛	川 口 三 都 子
R4.12. 1	曾我病院	病床数	327床	339床
R4. 8. 1	丹沢病院	事務長	植 木 信 也	高 橋 寛 治
R5. 1. 1	福井記念病院	病床数	357床	406床
R5. 2. 1	横浜日野病院	病院名	横浜日野病院	日野病院
R5. 1. 1	聖マリアンナ医科大学 病院	病床数	31床	52床
R5. 2.16	湘南東部総合病院	事務長	高 橋 徹	宇 高 達

(6) 理事会に関する事項

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
第1回	<p>1 日時 令和4年4月26日(火) 午後3時～5時00分</p> <p>2 方法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名、顧問1名 (理事8名、監事1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>冒頭に、4縣市より令和4年度当初予算の説明及び県精神保健福祉センター所長より「かかりつけ医うつ病対応力向上研修調査協力」の依頼があった。</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和3年度事業報告(案)について 事務局より資料1について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。</p> <p>(2)令和3年度収支予算の決算報告(案)について 事務局より資料2について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。</p> <p>(3)令和3年度 第10期定期総会開催及び優良職員等表彰について 事務局より資料3について説明を行い、協議の結果、定期総会の次第及び役割分担が決定された。また、優良職員表彰、日精協永年勤続病院職員表彰の受賞者が原案どおり承認された。</p> <p>(4)会員の変更について 資料のとおり、日吉病院から退会届があり承認された。また、北里大学病院、相模台病院、横浜相原病院、東海大学医学部付属病院より会員の変更届があり、またメンタルホスピタルかまくら山、久里浜医療センターより会員・院長の変更届があり、協議したところ、会員の変更については定款6条による承認となった。</p> <p>(5)各種委員の推薦について 神奈川県災害医療対策会議委員は、協議の結果、引き続き山口副会長を推薦することとなった。 神奈川県薬物乱用対策推進本部員は、協議の結果、引き続き佐伯理事を推薦することとなった。 横浜市実地審査担当精神保健指定医は、協議の結果、現在の15名を引き続き推薦することとなった。 川崎市実地審査担当精神保健指定医は、7名は継続で、新たに澤山監事、竹林先生(栗田病院院長)を推薦することとなった。 神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員は、協議の結果、引き続き大野副会長を推薦することとなった。</p> <p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none">顧問弁護士について 事務局より資料6について説明を行い、協議の結果、古谷和久弁護士を定款第27条に基づき協会の顧問として推薦することとなった。神奈川県保険医協会からの後援名義使用許可申請について 事務局より資料7について説明を行い、協議の結果、後援名義使用を承認することとなった。

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<ul style="list-style-type: none"> • 次期参議院議員候補からの推薦依頼について 協議の結果、比例代表候補者として推薦依頼のあった自見はなこ氏及び神奈川選挙区として推薦依頼のあった氏について推薦状を出すこととなった。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和4年4月26日(火)に開催された4月理事会について、大野支部長より報告があった。</p> <p>(2)表彰受賞者の決定について 「令和4年度 神奈川県県民功労者表彰」を大野副会長が受賞決定したことについて報告された。</p> <p>(3)会員病院の届出事項変更について 2病院から開設者の変更届、5病院から事務長の変更届、1病院から病床数の変更届が報告された。</p> <p>(4)各部長会について 資料のとおり、4月に実施した各部長会運営委員会についてそれぞれ報告された。</p> <p>(5)4月～5月の連休中の休日輪番病院確保等について 資料のとおり、行政より連休における輪番病院確保について依頼があり、現時点での輪番表により調整状況が報告され、会長からも協力依頼があった。また、1・2ブロック平日輪番体制表の調整結果について報告された。</p> <p>(6)第9回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新横浜こころのホスピタルの入会の調整について 会長より、4月8日に当該病院及び横浜市病院協会と協議を行い、精神科病床数の削減等の説明を行ったが、今後の当該病院の対応次第である旨の話があった。
第2回	<p>1 日 時 令和4年6月14日(火) 午後3時～4時50分</p> <p>2 方 法 会場(AP横浜)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事15名、監事2名、顧問1名 (理事9名、監事1名はオンライン参加)</p> <p>4 進 行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)会員の変更について 資料のとおり、川崎市立川崎病院より会員・院長・事務長の変更届があり、協議したところ、野崎院長か副院長(精神科医)を会員とするかは病院の判断を仰ぐこととし、会員の変更については定款6条による承認となった。</p> <p>(2)各種表彰候補者の推薦について 令和4年度神奈川県保健衛生表彰(知事表彰)は、協議の結果、馬場理事を推薦することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(3)各種委員の推薦について 相模原市実地審査担当医は、協議の結果、引き続き石井理事、増田理事、澤山監事を推薦し、また、北里大学から推薦をいただいた4名を含めて7名を推薦することとなった。 神奈川県教育支援委員会委員は、協議の結果、引き続き大野副会長を推薦することとなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大野支部長より関東地区協議会監事として選出された旨の報告があった。 • 資料のとおり、令和4年5月19日(火)に開催された第2回理事会について、大野支部長より報告があった。 • 資料のとおり、6月10日(金)に開催された「令和4年度第21回定時社員総会」について坂井理事より報告があった。荒井顧問よりサイバー攻撃による電子カルテ等の被害について話があり、大野支部長から日精協にも確認して話をしていくこととされた。 • 日本精神科病院政治連盟会費納入について、大野支部長より依頼がされた。 <p>(2)令和4年春の叙勲受章者について 「令和4年春の叙勲(瑞宝単光章)」を愛光病院顧問(元看護部長)の大熊紀代子氏が受章されたことについて報告された。</p> <p>(3)会員病院の届出事項変更について 相模台病院から院長の変更届、栄聖仁会病院から事務長の変更届、丹沢病院及び江田記念病院から病床数の変更届が報告された。なお、江田記念病院については、令和4年11月30日(予定)に、認知症病棟(精神)60床を一般病床(慢性期)60床に転換するもので、認知症病棟の患者はそれまでに退院させるよう調整するが、一部の患者は新たに一般病床に入院となる方も出てくるかもしれないことが報告された。</p> <p>(4)各部長会について 資料のとおり、それぞれ6月に総会・第1回研修会を開催することとなり、開催通知を発出したことが報告された。</p> <p>(5)精神科救急医療に関する行政との話し合いについて 資料のとおり、行政(4縣市)と事務局でZoomにより話し合いを行ったことが報告された。措置診察前の抗原検査に関して各病院の対応について話があり、竹内会長からは、対応の流れはできているが、それぞれの病院の解釈がずれるので、そのうち行政とも話し合いを行う必要があるとの発言があった。</p> <p>(6)第1回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)第10期定期総会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(8)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 弁護士会より精神保健当番弁護士制度に関する協議の依頼について

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<ul style="list-style-type: none"> • 弁護士会からの意見書 身体拘束について各先生より話があり、会長が次回理事会までの間に協会顧問の古谷弁護士と相談することとなった。なお、協議の場の依頼について催促があれば、検討させていただく旨の返事をする事となった。 • 精神科病床に関する県との打合せについて 6月13日(月)に県医療課、がん・疾病対策課と竹内会長、事務局長で打合せを行い、次回理事会までに要綱案が示されることになったと報告された。(次回理事会で示されることに変更された) • 令和4年度「かかりつけ医うつ病対応力向上研修」に係る「精神科紹介受入れ協力医療機関」調査について 各病院あてに調査依頼があることが報告された。 • 参院選推薦依頼(政治連盟として) 先に推薦決定した浅尾慶一郎候補者と今回推薦依頼があった三原じゅん子候補者を推薦することとなった。
第3回	<p>1 日 時 令和4年7月12日(火) 午後3時～5時20分</p> <p>2 方 法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名、顧問2名 (理事8名、監事1名、顧問1名は、オンライン参加)</p> <p>4 進 行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)代表者・院長会議について 協議を行った結果、ここ2年間実施していなかったため、今年度は開催に向けて準備はしていくこととし、当日の進行は講演会・院長会議ともに坂井理事とし、講演会は横浜市大教授と北里大学教授に依頼し、院長会議は食事の提供は無くして各病院の近況報告などできるだけ短時間で行うように実施する方向で予定していくこととなった。</p> <p>(2)各種表彰候補者の推薦について 神奈川県公衆衛生協会長表彰候補者は、協議の結果、木佐森朝野精神保健福祉士(愛光病院)を推薦することとなった。 神奈川県救急医療功労者表彰候補者は、協議の結果、清川遠寿病院を推薦することとなった。 第16回「塙 保己一賞」候補者は、協議の結果、該当無しとなった。</p> <p>(3)各種委員の推薦について 神奈川県精神科病院実地審査担当医は、協議の結果、協会からの30名は継続とし、北里大学、東海大学から推薦された10名を含めて40名を推薦することとなった。 横浜市精神医療審査会委員は、協議の結果、馬場理事及び加瀬院長を引き続き推薦することとなった。 横浜市障害者施策推進協議会委員は、協議の結果、山口副会長を引き続き推薦することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(4)各種会議について 令和4年度第1回 神奈川県いじめ問題対策連絡協議会は、協議の結果、大滝理事が出席することとし、令和4年度の取組について、「別紙1」の回答案で提出することとなった。</p> <p>令和4年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議(第2回)は、協議の結果、増田理事が出席することとなった。</p> <p>(5)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神病床の取扱いに関する県の要綱整備について ～ここで、県職員2名(がん・疾病対策課村上GL、最首主査)がオンラインで入室県より説明があり、次のとおり議論を行った。 <p>(県：村上GL) 要綱整備について、協会が既に行っている精神病床の削減ルールについて要綱に規定して全県的に適用していくこととし、9月の県精神保健福祉審議会、県保健医療計画推進会議で審議し、10月の医療審議会に報告して改正する予定であることが説明された。また、精神病床を削減して地域移行を進めるために基金事業を使ってインセンティブを設けることを医療課が検討していること、また、入院患者に対する4回目のワクチン接種の依頼があった。</p> <p>(竹内会長) 基準病床数は厚労省の基準に合わせて算出しているが、今後も変わらないか？</p> <p>(県：最首主査) 各自治体の変数等国から示されており、県の裁量幅は大きくない。</p> <p>(竹内会長) 超高齢社会となり、認知症病棟が増えていって、急性期病棟が基準病床以上に減らされている不安があるが、できるだけ療養病棟で診ていく形にならないか？</p> <p>(県：最首主査) 精神科病院にどういった入院患者がいて、どういった患者をターゲットに地域移行していくのか検討していきたい。</p> <p>(竹内会長) 患者の数を把握しながら進めていって欲しい。</p> <p>(坂井理事) 精神病床を削減しない場合は、事前協議の申し出はしないということか？</p> <p>(県：最首主査) 精神科の病床を持つ病院が一般病床の配分を希望する場合には、同数の精神病床を削減することを協議の条件として定めるもの。精神病床を削減しない場合は協議の対象とはならないので、一般病床の配分はされないことになる。</p> <p>(山口副会長) 令和4年分の病床配分の協議から適用されるという理解で良いか？</p> <p>(県：最首主査) 今年度の病床配分の前に決定する方向で調整している。9月の精神保健福祉審議会、保健医療計画推進会議で協議して10月までには要綱改正できるので、令和4年度の事前協議から適用していく。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(大滝理事) 高度急性期を担う総合病院が新たに精神病床を作りたいときはどうなるのか？ (県：最首主査) 神奈川の精神病床は基準病床を超えているので新たに精神病院を作るのは難しい。今の精神病床を急性期に特化した病床を作るなど機能の変更は認められるかとは思いますが、全く新しい病院を作ることは現状では認められない。</p> <p>(竹内会長) 川崎市立病院が基幹病院として何床か作ったことや、横須賀市で合併症の病棟を10床くらい作ったことがあったが、特例で厚労省の許可を得て増やしたもの。北里大学も東病院の60床を閉鎖することで、本院に42床作るよう審議会にかけられたと記憶している。要綱改正については、9月に精神保健福祉審議会等があるので、それまでに疑問点や意見があれば連絡していただきたい。 ～ここで、県職員2名がオンラインから退室</p> <ul style="list-style-type: none"> • 弁護士会からの意見書、当番弁護士制度について 古谷顧問より、身体拘束の警告については、身体拘束の必要性の理論武装をし警告に対して反論することも必要であること、また、弁護士会との協議の場については、ルールを作ってルールに違反した人を排除していく意味でも協議の場を設けることは検討した方が良いとの意見があった。 竹内会長からは、県の弁護士会とは、古谷顧問を含めて何人かの理事で打合せを行って行くことが提案され了承された。 • 名義使用許可申請について 「第12回COVID-19臨床懇談会」は、7月15日に開催されるため既に会長より承諾する旨を回答済みであることが報告された。 NPO法人じんかれんからの「第48回精神保健福祉・県民の集い」については、協議の結果、承認された。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料のとおり、令和4年7月7日(木)に開催された第3回理事会について、大野支部長より報告があった。 <p>(2)各部長会について</p> <p>資料のとおり、それぞれ6月に総会・第1回研修会を開催したことが報告された。</p> <p>(3)第2回理事会議事録について</p> <p>議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事務局より、隔年で開催している「コ・メディカル研修」と毎年開催している「栄養課職員研修」について、コロナ感染が拡大してしまったので、開催時期について少し様子を見てから調整したいことが報告された。

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
第4回	<p>1 日時 令和4年9月13日(火) 午後3時～5時00分</p> <p>2 方法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事15名、監事2名 (うち理事7名、監事2名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)代表者・院長会議について 協議を行った結果、講演会についてはより多くの方に参加していただくためWebでの参加も可能とするよう準備していくこととなった。また、代表者・院長会議の協議事項については、その場で各病院より意見を言っていただくこととなった。</p> <p>(2)各種表彰候補者の推薦について 神奈川県精神保健福祉協会長表彰候補者は、協議の結果、橋本貴行看護師(愛光病院)を推薦することとなった。 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者は、協議の結果、該当無しとなった。 令和5年度「社会貢献者表彰候補者」は、協議の結果、該当無しとなった。 また、神奈川県救急医療功労者表彰受賞が清川遠寿病院に決定したことが報告された。</p> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 精神保健福祉法の身体拘束以外の「固定」について 畑理事より説明があり、協議を行ったが、協会としての意見を出す段階にはなっておらず、他団体でも検討を行っていないことから、今後、日精協の指針や横浜市の検討状況などを注視していくこととなった。 • 当番弁護士制度について 8月9日(火)にオンラインで竹内会長、山口副会長、大滝理事、古谷顧問で打合せを行い、協議会を設けている福岡県の状況を確認することとなり、竹内会長が福岡精神科病院協会会長、事務局長に確認した内容が次のとおり報告された。「意見交換の場であってそこで何かを決めているわけではないこと、弁護士会からの結果報告が多いこと、要望書等が出てきても預かっているのみであること、弁護士訪問依頼については協会としては何もしていないこと、ステッカーの貼付要請は病院の判断としていること、などの内容であった。」竹内会長より、次回理事会で具体的に意見交換の場について協議することとなった。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和4年9月1日(木)に開催された第4回理事会について、大野支部長より報告があった。また、日精協医療安全委員会資料の報告があり、事故が起きたときには、問題がないと思ってもA報告書は出すよう話があった。</p> <p>(2)会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、聖マリアンナ医科大学病院の事務長変更届出、また、日野病院と丹沢病院の開設者変更届出が報告された。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(3)各部長会について 資料のとおり、それぞれ10月に第2回研修会を開催することが報告された。</p> <p>(4)各種会議について 9月6日(火)に開催された「精神保健福祉審議会」について竹内会長より報告があった。 書面開催の通知があった「第32回 かながわ自殺対策会議」は、「かながわ自殺対策計画(第2期)骨子案」について意見があれば大滝理事まで提出するよう話があった。 7月21日に開催された「第31回 かながわ自殺対策会議」について開催結果議事録により報告があった。 9月6日に開催された「令和4年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議(第2回)」について増田理事より報告があった。</p> <p>(5)第3回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(6)その他 ・事務局より、10月・11月の休日輪番、夜間輪番の空床確保について依頼した。</p>
第5回	<p>1 日時 令和4年11月8日(火) 午後3時～5時20分</p> <p>2 方法 会場(A P横浜)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名 (うち理事9名、監事1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)年末年始の救急輪番体制について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、年末年始のコロナ陽性患者の移送、年末年始の指定医派遣の交通手段の確保について質問があり、そうした点も含めて、会長・副会長で行政と打合せを行ってその結果を周知することを踏まえて年末年始体制に協力し、応援指定医の協力を精神神経科診療所協会に依頼することとなった。また、後方移送の受入ができなかったことについては民間病院では難しいケースもあることや、コロナ抗原検査陽性患者は受け入れできるところで診てもらいたいなどの意見もあり、コロナ禍で行政との話し合いができていないため、来年はできるだけ意思疎通をしていきたいとの話があった。</p> <p>(2)各種委員の推薦について 「神奈川県保健医療計画推進会議委員」は、協議の結果、引き続き大野副会長を推薦することとなった。 「横浜市精神医療審査会委員」は、協議の結果、引き続き、畑理事、黒岩理事、長谷川吉生監事を推薦することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(3)協会創立60周年記念式典、記念誌について 事務局より資料3について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典は実施する方向で、その時の状況によって規模は考えることとし、来年度に入ったら検討していくこととなった。日程については、10月20日(金)も含めて、11月15日(水)、11月21日(火)を候補日とし、横浜ベイホテル東急と横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズに、見積もり提案を依頼することとなった。また、60周年記念誌については、協会報の担当理事である山口副会長、大滝理事、武田理事、長谷川剛理事、馬場理事、佐伯理事、山田理事に、長谷川吉生監事も参加していただき、来年になったら少しずつ準備をすることとなった。</p> <p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 神奈川県弁護士会との協議の場の設定について 協議を行った結果、当番弁護士や弁護士会のことで何か問題があったか会員病院にアンケート調査を行うこと、法の一部改正の動向で様子を見ることなどで間を置き、すぐに来年度から動き出すことはせず、再度依頼があったときには意見交換会ならば1回くらいは実施していくよう話をしていくこととなった。 • 「入院届」等行政に提出する様式の作成について 山口副会長より資料について説明を行い、協議を行った結果、精神医療審査会委員の先生方からは、字数を制限した方が良い、保健所から県へまとめて提出するため提出が遅れている書類が散見される、行政が中心となって入院届等に書き方をレクチャーする場を作った方が良い、などの意見があり、行政にも申し入れを行い、その結果で会員病院にも通知を出していくこととなった。 • 横浜丘の上病院「御家族の方へのお願い」文書について 畑理事より資料について、皆さんの病院でも参考にして欲しいとのことで説明があった。古谷監事より平成25年厚労省事務連絡の資料共有があったが、10年以上前のもので見解が古くなっているため、法改正の時期を見て日精協に改めて疑義照会等をしていくこととなった。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、閣議決定された精神保健福祉法等の改正案について、大野副会長より説明された。</p> <p>(2)表彰受賞者の決定について 「令和4年度精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰」を山口副会長が、 「令和4年度精神保健福祉事業功労者連盟会長表彰」をあさひの丘病院の松迫敦子精神保健福祉士が、 「令和4年度神奈川県保健衛生表彰(知事表彰)」を馬場理事が、 「令和4年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰」を愛光病院の木佐森朝野精神保健福祉士が、 「精神保健福祉協会会長表彰」を愛光病院の橋本貴行看護師が それぞれ受賞したことについて報告された。</p> <p>(3)各部長会について 資料のとおり、それぞれ10月に開催された第2回研修会の概要について報告された。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(4)各種研修会について 「栄養科職員研修会」は、12月2日(金)にオンラインセミナーで実施する旨通知済みであること、「精神科看護職員研修」は、10月28日付で受講決定済みであること、「精神科看護技術研修会」は、案のとおり実施予定であることが報告された。</p> <p>(5)第4回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(6)その他 ・物価高騰対策支援事業(県)については、県からの通知のとおりであることが報告された。</p>
第6回	<p>1 日時 令和5年1月10日(火)午後3時～5時00分</p> <p>2 方法 会場(A P 横浜)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事15名、監事2名、顧問2名 (うち理事11名、監事2名、顧問1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和5年度当初予算(案)について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、臨時職員雇用費の増、弁護士顧問料、60周年記念事業など案のとおり計上することとし、病床数の変更等を反映した修正版を次回理事会で審議することとなった。</p> <p>(2)各種委員の推薦について 「横浜市こころの健康相談センター嘱託医師(判定業務)」は、協議の結果、引き続き佐伯理事を推薦することとし、他の医師については調整していくこととなった。 「川崎市総合リハビリテーション推進センター精神保健福祉判定医」は、協議の結果、引き続き、武田理事、長谷川吉生監事を推薦することとし、他の医師については調整していくこととなった。 「神奈川県救急搬送受入協議会委員」は、協議の結果、引き続き山口副会長を推薦することとなった。 「平塚市いじめ問題対策調査会」は、協議の結果、引き続き大野副会長を推薦することとなった。</p> <p>(3)協会創立60周年記念事業について 事務局より資料3について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典は、協会設立日に合わせて、11月15日(水)に開催することとし、会場は、横浜ベイホテル東急と横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズに見積もり提案を依頼することとなった。記念式典の記念講演者、祝賀会スピーチについては次回理事会で協議することとなった。また、60周年記念誌については、編集担当委員(山口副会長、大滝理事、武田理事、長谷川剛理事、馬場理事、佐伯理事、山田理事、長谷川吉生監事)が内容について検討を行うこととなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(4)第2回定期総会について 事務局より資料4について説明を行い、協議を行った結果、会場(横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ)で総会を行い、懇談会については食事の提供をせずに行うこととなった。</p> <p>(5)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂井理事より精神科救急輪番日において、受入病床にコロナ患者が居た場合の対応について確認があり、別の保護室で受け入れるなどの話があった。また、坂井理事より事務局からの空床状況メールを活用していきたい旨の話があった。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、臨時社員総会、関東地区協議会の開催について、また精神保健福祉法等の改正内容について、大野副会長より説明された。精神保健福祉法の改正内容については、行政からの情報も含めて事務局より会員あてに周知することとなった。</p> <p>(2)会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、曾我病院より病床数の変更があったことについて報告された。</p> <p>(3)精神科救急に関する行政との打合せについて 資料のとおり、12月27日(火)に会長、副会長と行政で行った打合せ結果及び精神科コロナ患者の入院調整に係る事務連絡について報告された。会長からは、年度が変わった段階で行政と基幹病院で協議する場を設けたい旨の話があった。</p> <p>(4)各種会議について 「令和4年度第2回神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会」は、増田理事より報告された。 「かながわ自殺対策会議」は、記者発表資料の配布があった。 「令和4年度第1回神奈川県ギャンブル等依存症対策推進協議会」は、書面開催の資料配布があった。 「令和4年度第2回神奈川県いじめ問題対策連絡協議会」は、大滝理事が欠席で他の出席者も居ないため欠席とし、取組成果と課題については調整することとなった。</p> <p>(5)第5回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神医療審査会における入院届等様式の記載については、行政に依頼文書を送付したことが報告された。 弁護士会や弁護士からの依頼事案の調査については、資料のとおり報告され、特に動きはないので、神奈川県弁護士会から今後依頼があれば話を聞くこととなった。

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
第7回	<p>1 日時 令和5年2月14日(火) 午後3時～5時30分</p> <p>2 方法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名、顧問2名 (うち理事9名、監事2名、顧問1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)第2回定期総会について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、令和5年度事業計画書及び令和5年度予算書については案のとおり定期総会に諮ることとし、日精協神奈川県支部総会における臨時社員総会報告は坂井理事が行うこととなった。</p> <p>(2)各種委員の推薦について 「横浜市こころの健康相談センター嘱託医師(判定業務)」は、前回理事会で決定した佐伯理事の推薦に加えて、協議の結果、馬場理事、横浜相原病院藤渡辰馬院長を推薦することとし、他1名の医師については調整していくこととなった。(その後の調整で、横浜舞岡病院遠藤桂子副院長を推薦することとなった。) 「川崎市総合リハビリテーション推進センター精神保健福祉判定医」は、前回理事会で決定した各医師の推薦に加えて、協議の結果、栗田病院竹林院長を第3金曜日にも推薦することとなった。 「川崎市精神保健福祉審議会委員」は、協議の結果、引き続き武田理事を推薦することとなった。 「生活保護法関係嘱託医」は、協議の結果、引き続き坂井理事を推薦することとなった。 「厚木市障害者協議会委員」は、協議の結果、引き続き増田理事を代表者会議委員に清川遠寿病院渡辺事務次長を実務者会議委員に推薦することとなった。 「茅ヶ崎市公務災害補償等認定委員会委員」は、協議の結果、けやきの森病院田村紀郎診療課長を推薦することとなった。 「神奈川県精神保健福祉協会役員」は、協議の結果、依頼文書を提出してもらうよう回答することとなった。</p> <p>(3)協会創立60周年記念事業について 事務局より資料3について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典(11月15日(水))の開催場所については、人員、料理代金等見積条件を合わせて引き続き次回理事会で協議することとなり、来賓については、県知事、神奈川県医師会、東京都精神科病院協会、県病院協会、県議会厚生常任委員会委員長(新堀史明：自民党)に出席を依頼することとし、国会議員や各団体などへの出席依頼や記念講演の演者などについては次回理事会で協議することとなった。また、60周年記念誌については、編集担当委員による編集会議の開催結果について山口副会長より報告を行い、記念誌の体裁、寄稿いただく先生について検討を行い、病院紹介の内容を各病院に原稿依頼していくこととし、その他記念誌の内容については編集委員にて3月、4月で相談していくこととなった。</p> <p>(4)その他 ・「第10回成人発達障害支援学会横浜大会」について、協議の結果、後援名義の使用を承認することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<ul style="list-style-type: none"> • 「神奈川県弁護士会との協議」について、神奈川県弁護士会三瀬弁護士より説明があり、ステッカーを貼ること、当番弁護士の名称、精神保健福祉士や法改正後の退院後生活指導員の役割との重複、精神科医療についての理解度など様々な意見があったことについては神奈川県弁護士会が検討するとのことであった。 <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、日精協第6回理事会(1/13)について、大野副会長より報告された。また、2月10日(金)の臨時社員総会について、坂井先生より報告された。</p> <p>(2)会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、丹沢病院より事務長変更届、福井記念病院より病床数変更届、日野病院より病院名の変更届があったことについて報告された。</p> <p>(3)各部長会について 資料のとおり、薬剤部長会、事務長会、看護部長会の第3回研修会の通知について報告された。</p> <p>(4)各研修事業について 資料のとおり、精神科看護技術研修会の実施結果について報告された。</p> <p>(5)各種会議について 資料のとおり、「第33回かながわ自殺対策会議」「第34回かながわ自殺対策会議(書面開催)」の実施結果について報告された。</p> <p>(6)第6回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長谷川吉生監事より、精神科救急における身体合併症患者の対応について報告があった。
第8回	<p>1 日時 令和5年3月14日(火) 午後3時～5時10分</p> <p>2 方法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名、顧問1名 (うち理事8名、監事2名、顧問1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和4年度第11期定期総会の開催について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、定期総会・表彰式を通常開催することとし、案のとおり開催通知を行い、優良職員表彰は3名までの推薦として推薦依頼を行うこととなった。また、関係行政機関及び県内選出の国会議員等に表彰式の招待状を送ることとなった。なお、祝賀会の実施については、次回理事会の4月25日時点での感染状況等を考慮して開催方法等を決定することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(2)役員改選について 協議の結果、次のスケジュールで行うことが了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙実施通知発送日は、 4月12日(水) ・立候補受付開始日は、 4月19日(水) ・立候補届締切日は、 5月10日(水) ・立候補公示期間は、 5月17日(水)～26日(金) ・投票日は、 5月30日(火) <p>(3)令和5年度年間主要行事予定について 事務局より資料3について説明を行い、日精協関係の行事については関東地区協議会の日程を補足しておくこととなった。</p> <p>(4)4月～5月の連休中の休日輪番病院の確保等について 事務局より資料4について説明を行い、協議を行った。会長からは、連休前に後方移送を実施するよう行政と調整を行うよう指示があり、連休中の空床と応援指定医について協力して欲しい旨の話があった。応援指定医が埋まらない場合は診療所協会長あてに依頼を行うこととなった。</p> <p>(5)各種表彰者の推薦について 第75回保健文化賞候補者の推薦については、協議の結果、ふさわしい候補者がいないので、推薦しないこととなった。</p> <p>(6)各種委員の推薦について 「神奈川県教職員第二健康審査会委員」は、協議の結果、引き続き馬場理事を推薦することとなった。 「神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員」は、協議の結果、引き続き大滝理事を推薦することとなった。 「葉山町いじめ問題調査会委員」は、協議の結果、引き続き津久井浜クリニックの井上亮子先生を推薦することとなった。 「神奈川県精神保健福祉協会理事」は、協議の結果、理事として新たに佐伯理事と澤山監事を、評議員には引き続き山口副会長と大滝理事を推薦することとなった。</p> <p>(7)各種会議について 「令和4年度神奈川県エイズ対策推進協議会総会」(書面開催)の協議事項については意見なしとなった。</p> <p>(8)協会創立60周年記念事業について 事務局より資料について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典(11月15日(水))の開催場所については、記念式典と祝賀会を別の部屋で行うことができるため「横浜ベイホテル東急」で実施することとなった。記念講演者については、会長より次回理事会までに候補を考えておくよう話があった。また、60周年記念誌については、4月になったら各病院に原稿の提出依頼を行っていくこととなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、日精協第6回理事会(3/2)について、大野副会長より報告された。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(2)会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、聖マリアンナ医科大学病院から病床数変更届、湘南東部総合病院より事務長変更届があったことについて報告された。</p> <p>(3)各部長会について 資料のとおり、薬剤部長会、事務長会の第3回研修会の開催結果について報告された。</p> <p>(4)令和4年度第2回定期総会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(5)第7回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「神奈川県知事選挙における黒岩祐治候補予定者からの推薦依頼」について、協議の結果、推薦することとなった。 • 山口副会長より、新型コロナが5月8日に5類移行することによる院内での対応、職員への説明等各病院の対応について質問があり、各理事から対応状況の説明があったが、引き続き次回理事会でも話し合いを行うこととなった。 • 武田理事より、精神保健福祉法の改正に伴う告知書の様式について質問があり、会長より、できるだけ4県市で様式等を統一するよう行政に話をしていくこととされた。

(7) 総会に関する事項

回数	出席会員数及び議案、議決の概要	
第10期 定期総会 令和4年 5月31日(火)	1 開催日時	令和4年5月31日(火) 15時00分～15時40分
	2 会場	横浜ベイホテル東急 地下2F アンバサダーズボールルーム
	3 会員	総数62名(正会員56名 賛助会員6名) 議決権の数 56個 出席会員数 39名(正会員出席者21名 委任状提出会員18名) この議決権の数 39個
	出席理事	大野 史郎、山口 哲顕、畑 俊治、石井 一彦、黒岩 隆、 大滝 紀宏、武田 龍太郎、長谷川 剛、坂井 喜郎、 増田 直樹、馬場 淳臣、佐伯 隆史、山田 聡敦、笠原 友幸
	出席監事	長谷川 吉生、澤山 透
	4 議案	
	第1号議案	令和3年度事業報告承認の件
	第2号議案	令和3年度決算報告(案)承認の件
	第3号議案	令和3年度会計監査報告の件
	5 議事	
(1) 議長の選任		
	定刻15時 坂井 喜郎理事の司会により開催を告げる。 引続き大野史郎副会長が開会のあいさつを行った。 続いて、司会者から定款第15条に基づく議長の選任について、司会者に一任を 諮ったところ出席者全員の拍手で承認された。 司会者は、福井記念病院 高屋 淳彦院長を指名し承諾が得られた。 高屋 淳彦院長が議長席に就く。 議長は、あいさつのあと本日の出席者について正会員出席者21名、委任状によ る表決者18名の計39名で、定足数を超えており総会は成立する旨を宣した。	
(2) 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件、第2号議案 令和3年度決算報告 (案)承認の件及び第3号議案 令和3年度会計監査報告の件について		
	議長は、これより議事に入ることを告げ、第1号議案から第3号議案までを議 案として提案することを宣した。 議長は、第1号議案及び第2号議案はそれぞれ関連があるので、一括して提案 するとともに事務局に議案の内容の説明を求めた。 杉山事務局長は、議長の指示に基づき第1号議案 令和3年度事業報告承認の 件及び第2号議案 令和3年度決算報告(案)承認の件を第10期定期総会議案書に 基づき各議案の概要を説明した。 続いて議長は、第3号議案について長谷川 吉生監事に報告を求めた。 長谷川監事は4月26日に会計監査を行った結果、適正に処理されていることを 報告した。 議長は第1号議案から第3号議案までの質疑を行うことを告げ、議場からの発 言を求めたが特に議案に関する発言はなく、議長は第1号議案、第2号議案、第 3号議案の議案をそれぞれ個々に諮ったところ、いずれも満場一致異議なく承認 され、議長は原案通り承認可決されたことを告げた。	

回数	出席会員数及び議案、議決の概要
	<p>議長は以上で予定の議事は全て承認されたことを告げ、審議の終了を宣し、15時40分降壇し閉会した。</p> <p>司会者は以上で第10期定期総会を終了したことを述べ、15時40分閉会した。</p>
<p>第2回 定期総会 令和5年 2月28日(火)</p>	<p>1 開催日時 令和5年2月28日(火) 5時30分～15時50分</p> <p>2 会場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 5階 日輪I 横浜市西区北幸1-3-23</p> <p>3 総会員数 総会員数62名(正会員56名 賛助会員6名)</p> <p>4 出席会員数 正会員出席者19名 委任状提出会員27名</p> <p>5 議案 第1号議案 令和5年度事業計画書(案)の件 第2号議案 令和5年度会計予算計画書(案)の件</p> <p>6 議長選任の経過 定刻15時30分 坂井 喜郎 理事の司会により開催を告げる。 引続き竹内 知夫会長が開会のあいさつを行った。 続いて、司会者は定款第15条に基づく議長の選任について、司会者に一任を諮ったところ出席者全員の拍手で承認された。 司会者は、福井記念病院 高屋 淳彦院長を指名し承諾が得られた。 高屋 淳彦院長が議長席に就く。 議長は、協会会員数正会員56名のうち、本日の正会員出席者について、出席者19名、委任状による表決者27名の計46名で定足数を超過しており、総会は成立する旨を宣した。</p> <p>7 議事の経過及び議案別決議の結果について 議長は、これより議事に入ることを告げ、第1号から第2号議案までを議案として提案することを宣した。 第1号議案 令和5年度事業計画書(案)の件、第2号議案 令和5年度会計予算計画書(案)の件について議長は、第1号議案と第2号議案は関連があるので、一括して提案するとともに事務局に議案の内容説明を求めた。 事務局長は、議長の指示に基づき第1号議案令和5年度事業計画書(案)の件及び第2号議案令和5年度会計予算計画書(案)の件を定期総会議案書に基づき概要を説明した。 議長は第1号議案及び第2号議案の質疑を行うことを告げ、議場からの発言を求めたが特に発言がなく議長は、第1号議案及び第2号議案について一括で承認を求めたところ、出席者多数の拍手で承認され、議長は原案通り承認可決されたことを告げた。</p> <p>議長は以上で予定の議案は全て承認されたことを告げ、議案審議の終了を宣し降壇した。</p> <p>司会者は、以上で令和4年度第2回定期総会を終了することを告げ、15時50分閉会した。</p>

令和4年度 決算報告(案)

I	収支計算書	
1	収支計算書総括表	33
2	一般会計収支計算書	34
3	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書	38
4	収支計算書に対する注記	39
II	財務諸表	
1	貸借対照表	40
2	貸借対照表総括表	41
3	一般会計貸借対照表	42
4	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表	43
5	財産目録	44
6	正味財産増減計算書	46
7	正味財産増減計算書内訳表	48
8	正味財産増減計算書総括表	50
9	一般会計正味財産増減計算書	52
10	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書	54
11	財務諸表に対する注記	55
12	附属明細書	56
III	公益目的支出計画	
1	公益目的支出計画の概要	57

収支計算書総括表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

科 目	一 般 会 計	輪 番 調 整 業 務 等 受 託 事 業 会 計	合 計
1 会費収入	12,095,000		12,095,000
2 繰入金収入	9,640,077		9,640,077
3 利息収入	31,544	77	31,621
4 雑収入	835,000		835,000
5 事業収入		116,282,717	116,282,717
6 特定預金取崩収入	130,000		130,000
収 入 計	22,731,621	116,282,794	139,014,415
前期繰越収支差額	18,431,765	0	18,431,765
収 入 合 計	41,163,386	116,282,794	157,446,180

2 支出の部

科 目	一 般 会 計	輪 番 調 整 業 務 等 受 託 事 業 会 計	合 計
1 一般管理費	22,106,747		22,106,747
2 特別支出	1,077,360		1,077,360
3 事業支出		107,262,717	107,262,717
4 繰入金支出		9,020,077	9,020,077
支 出 計	23,184,107	116,282,794	139,466,901
当期収支差額	△ 452,486	0	△ 452,486
次期繰越収支差額	17,979,279	0	17,979,279

一般会計収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

款	項	目	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
基本収益	会 費	会員会費	11,800,000	11,799,000	△ 1,000	・正会員 基本会費及び病床割会費 ・賛助会員
		特別会費	1,400,000	296,000	△ 1,104,000	・精神科看護技術研修受講料 ・精神科看護職員研修受講料
	その 他	繰 入 金 収 入	9,720,000	9,640,077	△ 79,923	・救急医療輪番調整委託費 ・精神科看護職員研修事業補助金
事業外 収 入	運用財産	預 金 利 息	32,000	31,544	△ 456	・縣市債利息ほか
	その 他	雑 収 入	570,000	835,000	265,000	・会報広告料
特定預金 取崩収入	積 立 金 取 崩	名簿作成費 積立金取崩 収 入	130,000	130,000	0	・隔年発行
収 入 計			23,652,000	22,731,621	△ 920,379	
前期繰越収支差額			18,899,193	18,431,765	△ 467,428	
収 入 合 計			42,551,193	41,163,386	△ 1,387,807	

2 支出の部

款	項	目	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
一 般 管理費	事 務 費	職員手当	7,997,000	7,652,058	△ 344,942	・常勤職員(2名)の給与,賞与 ・臨時職員賃金
		通 勤 費	368,000	369,016	1,016	・常勤職員(2名)の定期代 ・臨時職員交通費
		法 定 福 利 費	1,229,000	1,211,334	△ 17,666	・社会保険料等事業主負担分
		福 厚 生 利 費	1,719,000	210,528	△ 1,508,472	・優良職員表彰経費 ・常勤職員健康診断費
		事 務 所 賃 借 料	3,089,000	3,088,800	△ 200	・協会事務所借上代
		リ ー ス 料	731,000	699,279	△ 31,721	・複合機リース料 ・電話機主装置等 ・パソコン
		水 光 熱 道 費	156,000	167,448	11,448	・電気料 ・水道料
		事 務 用 品 費	364,000	337,285	△ 26,715	・複写用紙 ・複写カウント度数料 ・消耗品 ・物品購入 ・PCソフト
		通 信 費	697,000	843,760	146,760	・電話料、郵便切手等 ・インターネット関係経費 ・クラウドストレージ
		旅 交 通 費	24,000	31,600	7,600	・事務連絡旅費
		印 刷 代	818,000	657,250	△ 160,750	・総会議案書 ・協会報 ・その他
		助 成 金	325,000	150,000	△ 175,000	・県精神保健福祉士協会 ・県精神保健福祉協会

款	項	目	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
一 般 管理費	事 務 費	教 育 費	1,781,000	1,538,289	△ 242,711	・看護技術研修 ・栄養課職員研修 ・精神科看護職員研修
		交 際 費	350,000	53,320	△ 296,680	・祝い金、生花等慶弔経費
		諸 会 費	159,000	89,000	△ 70,000	・各種団体等会費
		救急医療 体 制 費	275,000	0	△ 275,000	
		総 会 費	333,000	727,305	394,305	・定期総会会場借上げ
		理 事 会 費	909,000	662,989	△ 246,011	・理事会開催費
		代 表 者・ 院 長 会 費	850,000	857,083	7,083	
		看 護 部 長 会 費	300,000	200,000	△ 100,000	・会議・研修会等開催
		小 委 員 会 費	252,000	0	△ 252,000	
		手 数 料	732,000	1,398,040	666,040	・顧問料 ・各種振込手数料 ・決算、申告報酬 ・公益目的支出計画実施報告書作成 ・毎月業務処理報酬 ・みずほe-ビジネスサイト利用料
		公 租 公 課 費	975,000	1,083,800	108,800	・各種契約書印紙代 ・法人税等引当金 ・消費税引当金
		雑 費	102,000	78,563	△ 23,437	・来客接待 ・新聞購読料他
		予 備 費	150,000	0	△ 150,000	
一般管理費小計			24,685,000	22,106,747	△ 2,578,253	

款	項	目	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
特別支出		会員名簿作成費	270,000	261,360	△ 8,640	・隔年発行
		契約更新料積立金	116,000	116,000	0	・隔年更新
		周年記念事業積立金	700,000	700,000	0	
特別支出小計			1,086,000	1,077,360	△ 8,640	
支 出 計			25,771,000	23,184,107	△ 2,586,893	
当期収支差額			△ 2,119,000	△ 452,486	1,666,514	
次期繰越収支差額			16,780,193	17,979,279	1,199,086	

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

款	項	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
事業収入	受入体制確保費	112,720,000	107,262,717	△ 5,457,283	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
	輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0	神奈川県負担額 横浜市負担額 川崎市負担額 相模原市負担額
雑収入	預 金 利 子	1,000	77	△ 923	
収 入 計		121,741,000	116,282,794	△ 5,458,206	
前期繰越収支差額		0	0	0	
収 入 合 計		121,741,000	116,282,794	△ 5,458,206	

2 支出の部

款	項	令和4年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
事業支出	受入体制確保費	112,720,000	107,262,717	△ 5,457,283	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
繰入金支	繰入金支出	9,021,000	9,020,077	△ 923	一般会計に繰入
支 出 計		121,741,000	116,282,794	△ 5,458,206	
当期収支差額		0	0	0	
次期繰越収支差額		0	0	0	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、定期預金(流動資産)、未収入金、立替金、未払金、預り金、前受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高		当期末残高	
	一般	輪番調整	一般	輪番調整
現 金 預 金	16,695,738	0	15,748,190	0
未 収 入 金	2,732,000	28,020,639	2,875,000	28,563,683
合 計 (A)	19,427,738	28,020,639	18,623,190	28,563,683
未 払 金	847,811	28,020,639	510,894	28,563,683
預 り 金	148,162	0	133,017	0
合 計 (B)	995,973	28,020,639	643,911	28,563,683
次期繰越収支差額(A)－(B)	18,431,765	0	17,979,279	0

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	481	481	0
普通預金	14,547,709	15,495,257	△ 947,548
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	29,183,683	28,497,639	686,044
流動資産合計	44,931,873	45,193,377	△ 261,504
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	6,300,000	5,600,000	700,000
契約更新料積立預金	116,000	0	116,000
会員名簿積立預金	0	130,000	△ 130,000
特定資産合計	9,416,000	8,730,000	686,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	22,500,000	0
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	23,350,584	0
固定資産合計	34,866,584	34,180,584	686,000
資産合計	79,798,457	79,373,961	424,496
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	26,819,577	26,613,450	206,127
預り金	133,017	148,162	△ 15,145
流動負債合計	26,952,594	26,761,612	190,982
2. 固定負債			
退職給付引当金	201,600	0	201,600
固定負債合計	201,600	0	201,600
負債合計	27,154,194	26,761,612	392,582
III 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	50,544,263	50,512,349	31,914
(うち特定資産への充当額)	(9,416,000)	(8,014,000)	1,402,000
正味財産合計	52,644,263	52,612,349	31,914
負債及び正味財産合計	79,798,457	79,373,961	424,496

貸借対照表総括表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	一般会計	輪番調整業務 受託事業会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	481			481
普通預金	14,547,709			14,547,709
定期預金	1,200,000			1,200,000
未収入金	2,875,000	28,563,683	△ 2,255,000	29,183,683
流動資産合計	18,623,190	28,563,683	△ 2,255,000	44,931,873
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	2,100,000			2,100,000
基本財産合計	2,100,000	0	0	2,100,000
(2) 特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000			3,000,000
周年記念事業積立預金	6,300,000			6,300,000
契約更新料積立預金	116,000			116,000
特定資産合計	9,416,000	0	0	9,416,000
(3) その他固定資産				
投資有価証券	22,500,000			22,500,000
電話加入権	220,584			220,584
敷金	630,000			630,000
その他固定資産合計	23,350,584	0	0	23,350,584
固定資産合計	34,866,584	0	0	34,866,584
資産合計	53,489,774	28,563,683	△ 2,255,000	79,798,457
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	510,894	28,563,683	△ 2,255,000	26,819,577
預り金	133,017			133,017
流動負債合計	643,911	28,563,683	△ 2,255,000	26,952,594
2. 固定負債				
退職給付引当金	201,600			201,600
固定負債合計	201,600	0	0	201,600
負債合計	845,511	28,563,683	△ 2,255,000	27,154,194
III 正味財産の部				
指定正味財産	2,100,000	0		2,100,000
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(0)		(2,100,000)
一般正味財産	50,544,263	0		50,544,263
(うち特定資産への充当額)	(9,416,000)	(0)		(9,416,000)
正味財産合計	52,644,263	0	0	52,644,263
負債及び正味財産合計	53,489,774	28,563,683	△ 2,255,000	79,798,457

一般会計貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	481	481	0
普通預金	14,547,709	15,495,257	△ 947,548
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	2,875,000	2,732,000	143,000
流動資産合計	18,623,190	19,427,738	△ 804,548
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	6,300,000	5,600,000	700,000
契約更新料積立預金	116,000	0	116,000
会員名簿積立預金	0	130,000	△ 130,000
特定資産合計	9,416,000	8,730,000	686,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	22,500,000	0
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	23,350,584	0
固定資産合計	34,866,584	34,180,584	686,000
資産合計	53,489,774	53,608,322	△ 118,548
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	510,894	847,811	△ 336,917
預り金	133,017	148,162	△ 15,145
流動負債合計	643,911	995,973	△ 352,062
2. 固定負債			
退職給付引当金	201,600	0	201,600
固定負債合計	201,600	0	201,600
負債合計	845,511	995,973	△ 150,462
III 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	50,544,263	50,512,349	31,914
(うち特定資産への充当額)	(9,416,000)	(8,014,000)	1,402,000
正味財産合計	52,644,263	52,612,349	31,914
負債及び正味財産合計	53,489,774	53,608,322	△ 118,548

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
未収入金	28,563,683	28,020,639	543,044
流動資産合計	28,563,683	28,020,639	543,044
資産合計	28,563,683	28,020,639	543,044
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,563,683	28,020,639	543,044
流動負債合計	28,563,683	28,020,639	543,044
負債合計	28,563,683	28,020,639	543,044
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	28,563,683	28,020,639	543,044

財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

勘 定 科 目	金	額	
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金	481		
普 通 預 金			
普通預金 みずほ銀行横浜駅前支店	12,754,694		
普通預金 横浜銀行横浜駅前支店	1,793,015		
定 期 預 金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	1,200,000		
未 収 入 金			
受入体制確保費	26,308,683		
輪番調整業務受託費	2,255,000		
精神科看護職員研修事業補助金	620,000		
流動資産合計		44,931,873	
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	2,100,000		
基本財産合計	2,100,000		
(2) 特 定 資 産			
災害時対策積立預金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	3,000,000		
周年記念事業積立預金			
普通預金 みずほ銀行横浜駅前支店	6,300,000		
契約更新料積立預金			
普通預金 みずほ銀行横浜駅前支店	116,000		
特定資産合計	9,416,000		
(3) その他固定資産			
投 資 有 価 証 券			
神奈川県225回公募公債	12,500,000		
神奈川県243回公募公債	10,000,000		
電 話 加 入 権 事務局電話回線	220,584		
敷 金 事務局事務所	630,000		
その他固定資産合計	23,350,584		
固定資産合計		34,866,584	
資産合計			79,798,457
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金			
受入体制確保費	26,308,683		
令和4年度確定消費税及び地方消費税	348,600		
社会保険料	86,408		
令和4年度法人県民税、市民税均等割	74,500		
その他	1,386		

勘定科目	金額	
預り金		
社会保険料3月分他	84,392	
源泉徴収所得税	48,625	
流動負債合計		26,952,594
2. 固定負債		
退職給付引当金	201,600	
固定負債合計		201,600
負債合計		27,154,194
Ⅲ 正味財産の部		52,644,263
負債及び正味財産合計		79,798,457

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金	0	1,000,000	△ 1,000,000
会員会費	11,799,000	11,886,750	△ 87,750
特別会費	296,000	120,000	176,000
受入体制確保費	107,262,717	112,370,266	△ 5,107,549
輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0
預金利息	31,621	31,621	0
雑収入	835,000	770,000	65,000
研修補助金	620,000	477,000	143,000
経常収益計	129,864,338	135,675,637	△ 5,811,299
(2) 経常費用			
事業費	125,073,514	128,533,034	△ 3,459,520
職員手当	6,724,597	6,557,086	167,511
通勤費	318,022	292,615	25,407
法定福利費	1,072,398	1,061,835	10,563
福利厚生費	209,012	190,785	18,227
事務所賃借料	2,718,144	2,788,632	△ 70,488
リース料	615,365	815,049	△ 199,684
水道光熱費	147,354	138,242	9,112
事務用品費	296,811	343,264	△ 46,453
通信費	735,773	570,805	164,968
旅費交通費	24,640	22,680	1,960
印刷代	470,141	441,936	28,205
助成金	150,000	250,000	△ 100,000
教育費	1,538,289	892,487	645,802
交際費	46,922	0	46,922
諸会費	78,320	74,760	3,560
救急医療体制費	0	76,313	△ 76,313
代表者・院長会費	857,083	0	857,083
看護部長会費	200,000	200,000	0
手数料	98,296	79,859	18,437
公租公課費	1,007,773	1,290,157	△ 282,384
雑費	69,137	76,263	△ 7,126
退職給付引当金繰入	171,360	0	171,360
名簿作成事業費	261,360	0	261,360
受入体制確保費	107,262,717	112,370,266	△ 5,107,549
管理費	4,684,410	4,332,304	352,106
職員手当	927,461	1,218,594	△ 291,133
通勤費	50,994	54,715	△ 3,721
法定福利費	138,936	193,020	△ 54,084
福利厚生費	1,516	1,222	294
事務所賃借料	370,656	531,168	△ 160,512
リース料	83,914	155,247	△ 71,333
水道光熱費	20,094	26,332	△ 6,238
事務用品費	40,474	65,018	△ 24,544
通信費	107,987	118,828	△ 10,841
旅費交通費	6,960	4,320	2,640
印刷代	187,109	226,116	△ 39,007
交際費	6,398	0	6,398
諸会費	10,680	14,240	△ 3,560
総会費	727,305	246,400	480,905
理事会費	662,989	821,415	△ 158,426
手数料	1,299,744	638,801	660,943

科	目	当年度	前年度	増減
	公租公課費	1,527	2,343	△ 816
	雑費	9,426	14,525	△ 5,099
	退職給付引当金繰入	30,240	0	30,240
	経常費用計	129,757,924	132,865,338	△ 3,107,414
	当期経常増減額	106,414	2,810,299	△ 2,703,885
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
(2)	経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	106,414	2,810,299	△ 2,703,885
	法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
	当期一般正味財産増減額	31,914	2,735,799	△ 2,703,885
	一般正味財産期首残高	50,512,349	47,776,550	2,735,799
	一般正味財産期末残高	50,544,263	50,512,349	31,914
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
	指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
III	正味財産期末残高	52,644,263	52,612,349	31,914

正味財産増減計算書内訳表
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	継 1	継 2	継 3	小計	他 1	他 2	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
会員会費				0	5,254,179	150,000	5,404,179	6,394,821		11,799,000
特別会費		296,000		296,000			0			296,000
受入体制確保費	107,262,717			107,262,717			0			107,262,717
輪番調整受託費	9,020,000			9,020,000			0			9,020,000
預金利息				0			0	31,621		31,621
雑収入				0	650,000		650,000	185,000		835,000
研修補助金		620,000		620,000			0			620,000
経常収益計	116,282,717	916,000	0	117,198,717	5,904,179	150,000	6,054,179	6,611,442	0	129,864,338
(2) 経常費用										
事業費	116,540,726	2,105,969	372,640	119,019,335	5,904,179	150,000	6,054,179	0	0	125,073,514
職員手当	4,211,399	298,645	210,570	4,720,614	2,003,983		2,003,983			6,724,597
通勤費	193,008	18,268	9,650	220,926	97,096		97,096			318,022
法定福利費	726,800	24,226	36,340	787,366	285,032		285,032			1,072,398
福利厚生費	6,951	506	253	7,710	201,302		201,302			209,012
事務所賃借料	1,698,840	123,552	61,776	1,884,168	833,976		833,976			2,718,144
リース料	384,603	27,971	13,986	426,560	188,805		188,805			615,365
水道光熱費	92,096	6,698	3,349	102,143	45,211		45,211			147,354
事務用品費	185,507	13,491	6,746	205,744	91,067		91,067			296,811
通信費	433,848	31,553	15,776	481,177	254,596		254,596			735,773
旅費交通費	15,400	1,120	560	17,080	7,560		7,560			24,640
印刷代	25,713	1,870	935	28,518	441,623		441,623			470,141
助成金				0		150,000	150,000			150,000
教育費		1,538,289		1,538,289			0			1,538,289
交際費	29,326	2,133	1,066	32,525	14,397		14,397			46,922
諸会費	48,950	3,560	1,780	54,290	24,030		24,030			78,320
代表者・院長会費				0	857,083		857,083			857,083
看護部長会費				0	200,000		200,000			200,000
手数料	61,435	4,468	2,234	68,137	30,159		30,159			98,296
公租公課費	999,963	2,444		1,002,407	5,366		5,366			1,007,773
雑費	43,210	3,143	1,571	47,924	21,213		21,213			69,137
退職給付引当金繰入	120,960	4,032	6,048	131,040	40,320		40,320			171,360
名簿作成事業費				0	261,360		261,360			261,360
受入体制確保費	107,262,717			107,262,717			0			107,262,717
管理費								4,684,410	0	4,684,410
職員手当								927,461		927,461
通勤費								50,994		50,994
法定福利費								138,936		138,936
福利厚生費								1,516		1,516
事務所賃借料								370,656		370,656
リース料								83,914		83,914
水道光熱費								20,094		20,094
事務用品費								40,474		40,474

正味財産増減計算書内訳表
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	継 1	継 2	継 3	小計	他 1	他 2	小計			
通信費								107,987		107,987
旅費交通費								6,960		6,960
印刷代								187,109		187,109
交際費								6,398		6,398
諸会費								10,680		10,680
總會費								727,305		727,305
理事会費								662,989		662,989
手数料								1,299,744		1,299,744
公租公課費								1,527		1,527
雑費								9,426		9,426
退職給付引当金繰入								30,240		30,240
経常費用計	116,540,726	2,105,969	372,640	119,019,335	5,904,179	150,000	6,054,179	4,684,410	0	129,757,924
当期経常増減額	△ 258,009	△ 1,189,969	△ 372,640	△ 1,820,618	0	0	0	1,927,032	0	106,414
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産 増減額	△ 258,009	△ 1,189,969	△ 372,640	△ 1,820,618	0	0	0	1,927,032	0	106,414
法人税、住民税及び事業税				0			0	74,500		74,500
当期一般正味財産増減額	△ 258,009	△ 1,189,969	△ 372,640	△ 1,820,618	0	0	0	1,852,532	0	31,914
一般正味財産期首残高										50,512,349
一般正味財産期末残高										50,544,263
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										0
指定正味財産期首残高										2,100,000
指定正味財産期末残高										2,100,000
Ⅲ 正味財産期末残高										52,644,263

正味財産増減計算書総括表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一 般 会 計	輪番調整業務等 受託事業会計	内 部 取 引 消 去	合 計
一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
1 基本収益				
(1) 会員会費	11,799,000			11,799,000
(2) 特別会費	296,000			296,000
2 事業収益				
(1) 受入体制確保費		107,262,717		107,262,717
(2) 輪番調整受託費		9,020,000		9,020,000
3 事業外収益				
(1) 預金利息	31,544	77		31,621
(2) 雑収入	835,000			835,000
4 繰入金収益				
(1) 研修補助金	620,000			620,000
經常収益計	13,581,544	116,282,794	0	129,864,338
經常費用				
I 一般管理費				
1 事務費				
(1) 職員手当	7,652,058			7,652,058
(2) 通勤費	369,016			369,016
(3) 法定福利費	1,211,334			1,211,334
(4) 福利厚生費	210,528			210,528
(5) 事務所賃借料	3,088,800			3,088,800
(6) リース料	699,279			699,279
(7) 水道光熱費	167,448			167,448
(8) 事務用品費	337,285			337,285
(9) 通信費	843,760			843,760
(10) 旅費交通費	31,600			31,600
(11) 印刷代	657,250			657,250
(12) 助成金	150,000			150,000
(13) 教育費	1,538,289			1,538,289
(14) 交際費	53,320			53,320
(15) 諸会費	89,000			89,000
(16) 総会費	727,305			727,305
(17) 理事会費	662,989			662,989
(18) 代表者・院長会費	857,083			857,083
(19) 看護部長会費	200,000			200,000
(20) 手数料	1,398,040			1,398,040
(21) 公租公課費	1,009,300			1,009,300
(22) 雑費	78,563			78,563
(23) 退職給付引当金繰入	201,600			201,600
(24) 名簿作成事業費	261,360			261,360
2 事業費				
(1) 受入体制確保費		107,262,717		107,262,717
經常費用計	22,495,207	107,262,717	0	129,757,924
当期經常増減額	△ 8,913,663	9,020,077	0	106,414

科 目	一 般 会 計	輪番調整業務等 受託事業会計	内 部 取 引 消 去	合 計
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	9,020,077	△ 9,020,077	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	106,414	0	0	106,414
法人税、住民税及び事業税	74,500			74,500
当期一般正味財産増減	31,914	0	0	31,914
一般正味財産期首残高	50,512,349	0		50,512,349
一般正味財産期末残高	50,544,263	0	0	50,544,263
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	0	0	2,100,000
指定正味財産期末残高	2,100,000	0	0	2,100,000
正味財産期末残高	52,644,263	0	0	52,644,263

一般会計正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
1 基本収益			
(1) 入会金	0	1,000,000	△ 1,000,000
(2) 会員会費	11,799,000	11,886,750	△ 87,750
(3) 特別会費	296,000	120,000	176,000
2 事業外収益			
(1) 預金利息	31,544	31,511	33
(2) 雑収入	835,000	770,000	65,000
3 繰入金収益			
(1) 研修補助金	620,000	477,000	143,000
經常収益計	13,581,544	14,285,261	△ 703,717
經常費用			
I 一般管理費			
1 事務費			
(1) 職員手当	7,652,058	7,775,680	△ 123,622
(2) 通勤費	369,016	347,330	21,686
(3) 法定福利費	1,211,334	1,254,855	△ 43,521
(4) 福利厚生費	210,528	192,007	18,521
(5) 事務所賃借料	3,088,800	3,319,800	△ 231,000
(6) リース料	699,279	970,296	△ 271,017
(7) 水道光熱費	167,448	164,574	2,874
(8) 事務用品費	337,285	408,282	△ 70,997
(9) 通信費	843,760	689,633	154,127
(10) 旅費交通費	31,600	27,000	4,600
(11) 印刷代	657,250	668,052	△ 10,802
(12) 助成金	150,000	250,000	△ 100,000
(13) 教育費	1,538,289	892,487	645,802
(14) 交際費	53,320	0	53,320
(15) 諸会費	89,000	89,000	0
(16) 救急医療体制費	0	76,313	△ 76,313
(17) 総会費	727,305	246,400	480,905
(18) 理事会費	662,989	821,415	△ 158,426
(19) 代表者・院長会費	857,083	0	857,083
(20) 看護部長会費	200,000	200,000	0
(21) 手数料	1,398,040	718,660	679,380
(22) 公租公課費	1,009,300	1,292,500	△ 283,200
(23) 雑費	78,563	90,788	△ 12,225
(24) 退職給付引当金繰入	201,600	0	201,600
(25) 名簿作成事業費	261,360	0	261,360
經常費用計	22,495,207	20,495,072	2,000,135
当期經常増減額	△ 8,913,663	△ 6,209,811	△ 2,703,852
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	9,020,077	9,020,110	△ 33
税引前当期一般正味財産増減額	106,414	2,810,299	△ 2,703,885
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期一般正味財産増減額	31,914	2,735,799	△ 2,703,885

科	目	当年度	前年度	増減
	一般正味財産期首残高	50,512,349	47,776,550	2,735,799
	一般正味財産期末残高	50,544,263	50,512,349	31,914
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
	指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
	正味財産期末残高	52,644,263	52,612,349	31,914

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
1 事業収益			
(1) 受入体制確保費	107,262,717	112,370,266	△ 5,107,549
(2) 輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0
2 事業外収益			
(1) 預金利息	77	110	△ 33
經常収益計	116,282,794	121,390,376	△ 5,107,582
經常費用			
1 事業費			
(1) 受入体制確保費	107,262,717	112,370,266	△ 5,107,549
經常費用計	107,262,717	112,370,266	△ 5,107,549
当期經常増減額	9,020,077	9,020,110	△ 33
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 9,020,077	△ 9,020,110	33
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権…移動平均法による原価法を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産は保有しておりません。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度において発生していると認められる額を計上しております。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	0	0	2,100,000
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	0	0	3,000,000
周年記念事業積立預金	5,600,000	700,000	0	6,300,000
契約更新料積立預金	0	116,000	0	116,000
会員名簿積立預金	130,000	0	130,000	0

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	〔うち指定正味財産からの充当額〕	〔うち一般正味財産からの充当額〕	〔うち負債に対応する額〕
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	(2,100,000)	(0)	(0)
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
周年記念事業積立預金	6,300,000	(0)	(6,300,000)	(0)
契約更新料積立預金	116,000	(0)	(116,000)	(0)

4. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
一般会計			
投資有価証券			
神奈川県225回公募公債	12,500,000	12,551,250	51,250
神奈川県243回公募公債	10,000,000	9,821,000	▲ 179,000

5. 実施事業資産について 実施事業資産は保有しておりません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2に記載をしているので内容の記載を省略しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	201,600	0	0	201,600

公益目的支出計画の概要

1. 公益目的支出計画の状況

(単位：円)

	計画	実績	差額
① 公益目的財産額（平成25年3月31日時点）	42,207,305	42,207,305	0
② 前事業年度末日の公益目的収支差額	16,730,280	17,296,273	△ 565,993
③ 当該事業年度の公益目的支出額	88,871,920	119,019,335	△ 30,147,415
④ 当該事業年度の実施事業収入額	87,013,000	117,198,717	△ 30,185,717
⑤ 当該事業年度の公益目的収支差額 ②+③-④	18,589,200	19,116,891	△ 527,691
⑥ 当該事業年度末日の公益目的財産残額 ①-⑤	23,618,105	23,090,414	527,691

2. 公益目的支出内訳（実施事業の収支）

(単位：円)

事業内容	公益目的 支出額	実施事業 収入額	収支差額
(継1) 精神科救急医療に関する事業	116,540,726	116,282,717	258,009
(継2) 人材育成及び教育研修に関する事業	2,105,969	916,000	1,189,969
(継3) 委員等の推薦や諮問・協議の仲介等に関する事業	372,640	0	372,640
計	119,019,335	117,198,717	1,820,618

監査報告

令和5年4月25日

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会

会長 竹内 知夫 殿

監事 長谷川 石生 

監事 澤山 透 

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務執行に関して本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集等に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び事務局員からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する書類の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属書類は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況を適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

令和4年度 優良職員表彰受賞者名簿

令和5年5月

病院名	受賞者氏名	職名	備考
愛光病院	宮前久美	事務員	
	瀬尾純子	精神保健福祉士	
	宮前佳明	事務員	
あさひの丘病院	塚田由美子	看護師	
	中島多美子	看護師	
	田中まゆみ	看護師	
厚木佐藤病院	曾根憲	臨床検査技師	
	江里口貴之	事務	
	横山理香	理学療法士	
生田病院	黒澤亜季	看護師	
	荻部千代美	看護師	
神奈川病院	保科紳一	精神保健福祉士	
	岸田源太	精神保健福祉士	
	澤田佳代子	看護補助者	
かわさき記念病院	田村英樹	薬剤師	
北里大学病院	中神静香	看護師	
栗田病院	豊原直子	看護師	
	中尾文人	看護補助者	
	平田奈津紀	看護師	
清川遠寿病院	鎌田和江	准看護師	
	三川キヨミ	准看護師	
	石井陽子	准看護師	
けやきの森病院	秋山メイ子	看護師	
	松岡克美	事務職	
国府津病院	島田京子	准看護師	
	森るみ子	准看護師	
	中村通子	准看護師	

病 院 名	受 賞 者 氏 名	職 名	備 考
港 北 病 院	内 田 恭 子 知 名 洋 子 天 川 茜	精 神 保 健 福 祉 士 看 護 補 助 者 看 護 師	
相 模 ケ 丘 病 院	杉 山 仁 哉 守 屋 昌 代 松 本 敬 子	事 務 師 看 護 師 准 看 護 師	
相 模 台 病 院	増 田 里 美	看 護 師	
十 愛 病 院	宮 守 陽 子	看 護 師	
湘 南 病 院	高 野 奈 美 塚 越 秀 樹 米 山 明	事 務 職 員 事 務 職 員 理 学 療 法 士	
相 州 病 院	白 川 彩 子 井 草 理 恵 曾 根 喜 代 子	管 理 栄 養 士 看 護 師 事 務 部 会 計 担 当	
曾 我 病 院	小 澤 睦 美 井 上 貴 宏 佐々木 恵 子	介 護 福 祉 士 介 護 福 祉 士 介 護 福 祉 士	
武 田 病 院	相 原 裕 史 島 田 か お り 田 島 真 由 美	事 務 師 作 業 療 法 士 看 護 師	
丹 沢 病 院	栗 原 美 津 江 柏 木 初 美 池 田 芳 美	病 棟 ア シ ス タ ン ト 准 看 護 師 看 護 師	
常 盤 台 病 院	岩 崎 真 和 田 晴 美 織 田 真 理	薬 剤 師 准 看 護 師 看 護 師	
秦 野 病 院	白 戸 真 裕 美 熊 谷 理 恵 西 山 桂 子	看 護 師 看 護 師 精 神 保 健 福 祉 士	
秦 野 厚 生 病 院	横 井 克 宣 柳 澤 総 子 西 澤 千 紗 子	准 看 護 師 看 護 師 医 師	

病 院 名	受 賞 者 氏 名	職 名	備 考
日 向 台 病 院	吉 宮 毅 向 高 伸 之 岩 山 勝 也	作 業 療 法 士 事 務 職 員 看 護 師	
横 浜 日 野 病 院	佐 藤 貴 幸 大 谷 舞 美 花 枝 勇 一	精 神 保 健 福 祉 士 看 護 補 助 手 調 理 師	
平 塚 病 院	高 島 陽 子 武 田 直 美 霜 山 裕 子	介 護 福 祉 士 事 務 員 看 護 師	
福 井 記 念 病 院	志 賀 由 美 子 永 野 貴 敏 松 井 美 代 子	看 護 師 看 護 補 助 者 管 理 栄 養 士	
富 士 見 台 病 院	半 田 悦 子 伊 藤 慶 美 阿 部 忍	看 護 師 看 護 師 准 看 護 師	
メンタルホスピタル かまくら山	村 山 利 絵 佐 藤 正 信 平 田 秀 一	精 神 保 健 福 祉 士 看 護 補 助 者 看 護 補 助 者	
横 浜 相 原 病 院	井 上 成 美 匹 田 恭 子 近 藤 由 布	作 業 療 法 士 公 認 心 理 師 作 業 療 法 士	
横 浜 丘 の 上 病 院	古 川 尚 史 佐々木 会里加	看 護 師 精 神 保 健 福 祉 士	
横 浜 カ メ リ ア ホ ス ピ タ ル	栗 田 泉 中 村 久 美 子 茂 手 木 ゆ り 子	看 護 補 助 者 看 護 補 助 者 看 護 補 助 者	
横 浜 舞 岡 病 院	小 林 順 子 藤 原 恵 子 大 森 悦 子	薬 剤 師 看 護 師 看 護 師	
受賞者計88名			

令和4年度 永年勤続病院職員表彰受賞者名簿

令和5年5月

病 院 名	受 賞 者 氏 名	職 名	備 考
愛 光 病 院	加 藤 智 弘	准 看 護 師	
港 北 病 院	伊 奈 秀 美	臨 床 検 査 技 師	
湘 南 病 院	大 間 美 保	管 理 栄 養 士	
	齋 藤 伸 一	事 務 職	
	長 澤 光 良	調 理 師	
相 州 病 院	友 部 宗 男	事 務 職	
曾 我 病 院	府 川 徳 子	看 護 師	
	榎 本 真 弓	看 護 補 助 者	
	田 中 園 美	管 理 栄 養 士	
秦 野 病 院	福 島 義 之	看 護 師	
秦 野 厚 生 病 院	菊 地 正 樹	看 護 師	
	外 種 子 田 壽	准 看 護 師	
横 浜 舞 岡 病 院	松 尾 久 美 子	准 看 護 師	
受賞者計13名			